



# WEEKLY REPORT

## 意識を喚起し、進んで行動を!!

第1683回 例会プログラム 2001.3.4 No.33

例会場：東レ研修センター  
 開会点鐘：12:45  
 国歌斉唱：君が代  
 ロータリーソング：それでこそロータリー  
 内容：7クラブ合同例会 第2分区 I M  
 会員慶事



### 3月1日のスマイル

先日、岡本様に南高教師の指導をお願い致しました。  
 本日卒業式にて、学校より大変感謝しておりました。  
 岡本様ありがとうございました。（菅沼 久）  
 先日、臼井委員長が欠席されたので、広報の文章を始  
 めて任されました。文章を書くって、難しいと思います。  
 （芹沢正明）

52回目の誕生日を迎える事ができ感謝です。  
 あと20回は迎えられよう頑張ります。

（石田 恩）

### 会長挨拶

田代 博久



本日は、ゲストとして田島  
 笑子様をお招きしております。  
 ご多忙のところを快く卓話をお  
 引き受けくださいます心  
 から御礼申し上げます。

この4日はIMです。豊山徹  
 也さんには山中さんの分まで  
 頑張っていたくことになり  
 ました。テーマは(我がクラブを自慢する)ですが、  
 地域では全国制覇の御中女子の駅伝、御西の空手  
 があります。

目を世界に向けますと、ヨーロッパの街並みを見  
 てショックを受けますが、街そのものが文化遺産  
 の感じがします。大変うらやましく思いますが、  
 でも、世界一の富士山があるのではないかと自分  
 を慰めたりします。

静岡県では、「日本一」がこんなにもあるのか  
 と気がつきます。東洋経済新報社によれば豊かな  
 自然の恵みを受けて、農水産物での日本一が多い。  
 お茶の生産額は全国の45%のシェアを誇っている。  
 温室メロン、ネーブルオレンジ。花ではガーベラ、  
 フリーシアも日本一の生産額です。水産物ではキ  
 ハダマグロ、カツオ、シラス、サクラエビなど。  
 マグロとカツオの漁獲量は全国の約25%を占めて  
 いる。工業製品では、楽器の県らしくピアノ。バ  
 イク、プラモデル、羽毛布団、エアコン等地元企

業が日本一。サッカー王国ならではのJリーガー  
 の数。99年では472人のJリーガーの内67人で32  
 %を占めダントツの1位。小学校のサッカー競技  
 人口もナンバーワンだそうです。ユニークなところ  
 では、弁当類の支出金額日本一、何故でしょう  
 か。

新幹線や東名高速、伊豆の観光地などがあり、  
 旅のお供の弁当消費が多い為ですね。ちなみに新  
 幹線の6駅も全国の中でいちばん多い。雪は日本  
 一少ない県ですが別荘の数も全国の中で最も多い。



### 第2620地区御殿場ロータリークラブ

例会日/木曜日 12:30 ~ 13:30  
 例会場・事務局/YMCA東山荘  
 電話/0550-83-1133 FAX/0550-83-1138  
<http://www.gotemba-rc.gr.jp/>  
 静岡県御殿場市東山1052  
 会長/田代 博久 会報委員長/臼井 良太

## BE A TRUTHFUL ROTARIAN!



皆様こんにちは、田島笑子でございます。私が1213mの金時山に登っている時の体験をお話します。

私はその日、本来は富士山の五合目に山登りをするつもりで、金時神社で待ち合わせをしていましたが、30分待っても、1時間根気よく待っても友人が来ません。私をひろい忘れたらしいです。

私は準備万端でしたので、なんとしてももったいなくて、ハイキング中の人に思いきって声をかけ、「私を金時山に連れて行って下さい！」と声をかけたら、気持ちよく「いいですよ」と言ってくれました。

これがキッカケで、2度、3度と登るようになりました。いつどこで何がおこるかわからないものでございます。初めの内は怪我をしないようにと、慎重に、10回、20回、50回と登っていく内に、どうして金時山がこんなに人気があるかがわかってまいりました。今までは、遠くより仰いで見る富士も金時山頂では、目線で相対し、それも富士が親しげに話しかけてくるように感じ取れるのです。また、登山道には、春に先がけてまだ雪が積もっているのに、万作の花が満開に。黄色い花びらの中に真っ赤なめしべがなよなよとした姿は、日本画の伊東深水先生が描く美人そのものです。

若葉、青葉の頃は歩きながら振り返ると、谷間のあちらこちらに山ぼうしがほころしげに咲いているのが目に写ります。あの花卉のように見える白い部分は実はガクで、本当は緑の部分が花でございます。林の中を覗き込むと、ギンゾウソウがニョキニョキと頭をもたげ、おとぎの国を彷徨っているようで、小人たちの姿が見当たらないのが、不思議に思えるほど幻想的な花です。魔法をかけられたような錯覚にとらわれます。夏がきて歩く足下には、ヒノツケソウがピンクの花を開きます。どこからともなくユリの香りが漂ってきます。山ユリは一輪だけでも強い香りがしますから、すぐに姿を見つけることが出来ます。水色のナツヌキソウ、リンドウ、トリカブトが競い合うように咲いています。

トリカブトは毒性のイメージがありますが、毒は根の部分で、葉は天ぷらにすると美味しいそうです。これは山で出会った、見ず知らずの通りすがりの人から聞いた話ですから、お勧めはできませんが、もし勇気のある人は試しに召し上がってみたらどうでしょう。私は食べるのは嫌でございます。

頂上付近の木の葉が紅葉仕始める頃、栗が毬を着けたまま通り道に転がっています。ドングリも「ポ

トン、ポトン」と大きな音をたてて落ちてきます。

木枯らしがふいて枝から枝へ2羽のヒガラが、「ツツッピー、ツツッピー」と私の歩く先を渡っていきます。頬ずりをしたくなるほど、かわいい小鳥たちです。

それから、イノシシはいたずら者で、夜になると山から私の家の庭におりてきて、一夜の内に庭中掘り返して困ります。

しかし、雪景色の中では美しいものです。

雪をけちらし、1頭また1頭と、立ちすくむ私を後目に雪塗れになって猛スピードで登山道を横切り、一瞬のうちに見えなくなりました。怖いというよりも勇壮感があり、溜飲の下がる思いでしたのが、私の本音でございます。この一部始終を地元の人に話しますと、あそこはイノシシの通り道だと教えてくれました。私は家中から鈴を集め、雪の日に登頂する時は、鈴をつけて登ることにしました。

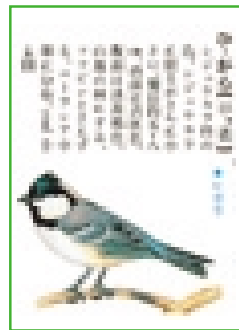
鈴の音がしてから、あちらは私が先に通過するまで、今度は待っていてくれるようになりました。これが金時山のルールだと思いました。（共存共栄）

いつ登っても、何度登っても金時山は飽きません。私が自分の健康状態を知るために、山登りは絶好のバロメーターです。登山時間は、私の足で神社から1時間15分、下りは45分。矢倉沢峠からは登り50分、下りは30分程度です。これをもう10分縮めよう焦ると、途中で息が切れてハードになるので、マイペースでテクテクと歩いております。10分～15分遅れる時は、風邪のひきはじめだったり、胃の具合が悪かったりする時ですから、すぐに処置をします。ですから大した病気にもなりません。

年間30万人も登るそうで、色々な人と出会います。私は年のわりには気が強く、相手に対してガムシャラな性格があるのですが、山では不思議と、まったくその性格が出ません。山から下りて来ると元に戻りますが、山にいる間は、おとなしい熟女でございます。今私は、2000回登頂を目指して登っています。人はひとりでは何もできませんが、周りの支えがあって目標が達成できるのだと思います。金時山は私を180度転換させてくれる素晴らしい山です。

この中にも金時山愛好家が何人か居られます。先ほどから温かい眼差しで私を見守っていて下さり、とても嬉しいです。

2000回で止めるのではなく、体力の許すかぎり、楽しい思い出がたくさん作れるように、登り続けるつもりでございます。どうもありがとうございました。



## 前回の出席報告

会員数	計算に用いる 会員数	出席数	暫定出席率	前々回の 確定出席率
62名	57名	52名	89.47%	100%

欠席者（6名）

根上眞一君、大庭健一郎君、臼井良太君、内海宣彦君、山口幸男君、山崎恭夫君

## メーキャップ（13名）

2月15日	富士宮	勝又敏樹君	
2月19日	沼津東	藤田昇司君	井口修一君
		渡辺 巖君	
2月20日	沼津北	大森清治君	
2月21日	長 泉	大庭健一郎君	
2月23日	裾 野	神谷高義君	
2月27日	箱 根	石田 恩君	